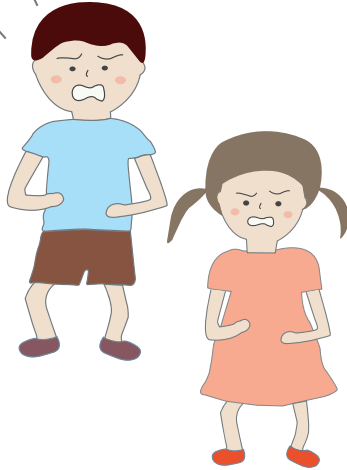


テーマ

子どものストレス=大人のストレス

～臨界点に達する前に～



今の時代にストレスを覚えないで暮らしていくのは子どもでも大人でも、容易なことではありません。それに適度な負荷は、むしろ人間の心身を活性化する上で必要なものだと言われています。でも、それが臨界点を越えると……、心や体は追い詰められ、さまざまな問題となって現れてきます。この数年の子どもたちの信じられないような事件も、過剰なストレスに耐えかねたあげくの反撃とみることもできるでしょう。大人のストレスは子どもたちをも追いつめてしまうのです。そうなる前に、色彩を使ってできること。これが今回のテーマです。

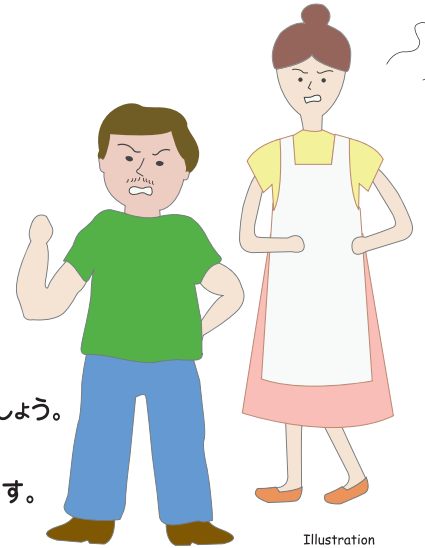


Illustration © kanee mori

合同プログラム 8/4 [土] 14:00~21:00

第1部 日韓セラピー対談&韓流ワークショップ

白善楽 (ベク・ナッソン) × 末永蒼生

今回お招きするのは、韓国でこの数年、末永メソッドを用いてカウンセリングやセラピーにあたってこられたベク・ナッソン先生。心身の問題を抱える子どもたちを対象にしたアトリエ活動に力を入れてきたベク先生と末永が、互いに実例を持ち寄り、色彩セラピーの可能性を探ります。また、ベク先生草案のぬり絵を使った『韓流ワークショップ』もお楽しみに！



ゲスト ◆ 白善楽 (ベク・ナッソン)
美術治療家・「韓国・末永メソッド色彩心理研究所」代表

第2部 実践会員からの活動報告

前後 美和さん

「認定講師養成コース」1期修了
介護の仕事に携わりながら、社会人、高齢者を対象に講座を実施。北陸ネットワークを背景に、対象や活動の幅を広げてきた。今回、社会人対象のワークショップでのストレスケアの実践例を報告。

原 映子さん

「子どものアトリエ開設コース」大阪校 1期修了
アトリエの子どもの作品から「養育者の環境」と「子どものストレス」との関係を紹介。また、ボランティア団体を結成して助成金を受けての活動の経緯を報告。

鈴木 敬子さん

「仙台校」3期修了
山形県立の施設にて、知的障害者や精神障害者の自己実現を目的に創作活動の場を開催。また、エイブル・アートの展覧会を企画するなど、社会に障害者アートを広める運動を推進している。

第3部 末永蒼生講演会 「色が語る、ストレス活用の鍵」



ストレスが人の生命力を活性化させる場合と、低下させる場合の違いはどこから来るのでしょうか？ ストレスそのものが悪いのではなく、問題はそれを感じる私たち人間の心。色彩が教えてくれる、「ストレスを栄養にする生き方」とは……。目からウロコの末永ワールドが展開します。

◆末永蒼生

「アート&セラピー色彩心理協会」会長 / 色彩心理学者
(株)ハート&カラー及び「末永メソッド色彩心理研究所」「色彩学校」「子どものアトリエアートランド」代表。

専門プログラム

1日目 8/4 [土] 11:00~13:00

ライセンス保持者のための研修分科会

A 講師ライセンス保持者

ストレスケアのためのぬり絵選択

ストレスの種類や対象に応じて適切なぬり絵を選択する方法は…。『しあわせぬり絵セラピー』や『色彩楽』の中からもっとも効果のあつたぬり絵を紹介、体験します。

B チャイルドライセンス保持者

子どものストレスを絵から読み解く

何気なく描かれた子どもの絵からストレスを見逃さないために…。子どものストレスの原因を、絵を読み解くことで理解し、隠されたSOSをキャッチします。

※ダブルライセンス保持の方はどちらかの分科会を選択していただくことになります。

2日目 8/5 [日] 11:00~18:00

チャイルドアートインストラクターのための研修会 (ライセンス保持者)

*ワークショップ「子どものストレス」タイプ別対応ワークショップ
関係性からストレスを捉えるワークシートでアトリエ現場での子ども、親対応法を考察します。

*末永蒼生レクチャー
「ストレス」はどこからくるのか？

*事例持ち寄りディスカッション
各現場で描かれた子どもの絵を持ち寄り、様々な角度から検証。「読み解き」の幅を広げます。

*絵の読み解きライブ
チャイルドアートインストラクター研修会名物！
末永先生とライブで絵を読み解きます。

*レポート提出者受賞式
年に一度アトリエ活動をレポートにして振り返った方に末永先生から奨励賞が授与されます。